

急傾斜地が多い日本は、台風や大雨等で、がけ崩れなどによる土砂災害が発生しやすい環境にあり、いざ発生すると一瞬にして多くの人命を奪ってしまいます。特に、鹿児島市の多くは、水を含むと崩れやすいシラス（火山噴出物）でおおわれており、土砂災害が起きやすい地域です。



◇土砂災害の主な原因

土砂災害は、大きく「急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）」「土石流」「地すべり」の3つに分類することができます。

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

急傾斜地（傾斜の角度30度以上で高さが5m以上のもの）において、大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、緩んだ「がけ」が突然崩れ落ちるものです。



土石流

山や谷（渓流）の土、石、木などが、大雨や長雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。

地すべり

大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたり、ゆっくりと斜面下方に動き出すものをいいます。

土砂災害（特別）警戒区域とは？

土砂災害（特別）警戒区域とは、土砂災害のおそれがある区域です。鹿児島県により、新たに、**土砂災害特別警戒区域（約3,100箇所）**と**土砂災害警戒区域（約3,300箇所）**が指定されました（令和3年4月指定完了）。防災マップ（裏面）で自宅の安全性を確認しましょう。

〔土砂災害警戒区域（イエローゾーン）〕

土砂災害のおそれがある区域

〔土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）〕

イエローゾーンの中でも特に、建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域



〔急傾斜地における土砂災害（特別）警戒区域のイメージ〕



これまでのイエローゾーンも見直されているので、改めて確認しましょう。



土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊
	土石流
土砂災害特別警戒区域	地すべり
	急傾斜地の崩壊
	土石流